



守ろう！ 和歌山の生物多様性

～未来の子供たちへ生物との共存を～

【基調講演】和歌山県文化表彰受賞記念講演

演題：

昆明・モンリオール生物多様性枠組と 2030年ネイチャーポジティブへの道筋

[講師]

令和4年度 和歌山県文化賞
IGES 理事長

武内和彦氏

【パネルディスカッション】

演題：和歌山県の生物多様性保全の在り方について

- コーディネーター：IGES 理事長 武内和彦氏
- パネリスト：
 - ①和歌山大学名誉教授 高須英樹氏
 - ②和歌山県立自然博物館長 和田恵次氏
 - ③南方熊楠顕彰館学術研究員 土永知子氏
 - ④和歌山県立自然博物館学芸員 佐々木歩氏

【わかやまネイチャー・アワード表彰式】

『賞状授与及び受賞発表』



開催日時▶令和6年**2月25日**(日) 12:30~16:30
(12:00受付)

開催場所▶ホテルアバローム紀の国 3階 孔雀の間 (和歌山市湊通丁北2丁目1-2)

入場
無料

※要事前申込

【主催】和歌山県

守ろう! 和歌山の生物多様性

～未来の子供たちへ生物との共存を～



令和4年度 和歌山県文化賞
公益財団法人地球環境戦略研究機関 (IGES) 理事長
たけうち かずひこ

武内 和彦氏 (環境学者)

【経歴】専門は緑地環境学、地域生態学、サステナビリティ学。1951年和歌山市生まれ。東京大学大学院農学系研究科修士課程修了。農学博士。東京大学サステナビリティ学連携機構長、国連大学上級副学長、中央環境審議会会長等を歴任。2017年より現職。地域生態学の分野を確立し、SATOYAMAイニシアティブ国際パートナーシップの設立運営に貢献。持続的な社会・生態システムの再構築を目指すサステナビリティ学を展開し、世界農業遺産・日本農業遺産認定にも深く関与している。みどりの学術賞(内閣総理大臣賞)、市村賞地球環境学術賞貢献賞、日本農学賞、読売農学賞等受賞歴多数。『世界農業遺産 注目される日本の里地里山』、『ランドスケープエコロジー』、『地球持続学のすすめ』など。



和歌山大学名誉教授

高須 英樹氏

【経歴】1949年東京生まれ、京都大学大学院理学研究科博士課程中途退学。和歌山大学教育学部教授を退職後、和歌山大学名誉教授を授与され、平成26年度から令和3年度まで和歌山県立自然博物館館長を務める。和歌山県RDB編纂にも携わり、現在も和歌山大学を拠点に様々な活動を実施している。

南方熊楠顕彰館学術研究員

土永 知子氏

【経歴】専門は植物生態学・植物社会学。1960年、三重県生まれ、奈良女子大学大学院理学研究科博士課程中退。県立高校生物教諭を退職後、南方熊楠記念館学術スタッフを経て、2021年より現職。天神崎の自然を大切にしたい代表理事。1987年より南方熊楠の植物標本の調査に従事。「別冊太陽 南方熊楠」、「南方熊楠大辞典」(分担執筆)など。

和歌山県立自然博物館長

和田 恵次氏

【経歴】1950年和歌山市生まれ、京都大学大学院理学研究科博士課程単位認定退学。2016年に奈良女子大学教授を退職後、奈良女子大学名誉教授を授与され、令和4年度から現在も和歌山県立自然博物館館長を務める。和歌山県RDB執筆編集、自然環境功労者環境大臣表彰、「干潟の自然史」、「日本のカニ学」、「干潟の絶滅危惧動物図鑑」など。

和歌山県立自然博物館学芸員

佐々木 歩氏

【経歴】1990年、海南市生まれ、静岡県立大学大学院薬食生命科学総合学府食品栄養科学専攻修士課程修了。2015年より特定非営利活動法人静岡県自然史博物館ネットワークに就職し、展示や調査・研究等に従事。2018年より現職に転職。鳥類・哺乳類分野の学芸員として博物館活動に従事。



和歌山県PRキャラクター「わいちゃん」

申込フォーム・メールおよびFAX・郵送申込書

※記載いただいた情報は、当イベントのご案内以外の目的には使用しません。※定員になり次第、受付を終了します。

■申込フォーム <https://sizen.wbs.co.jp>

■メール wasizen@wbs.co.jp

■FAX 073-428-0960

■郵送 〒640-8577 和歌山市湊本町3丁目3番地 和歌山放送「守ろう和歌山の生物多様性」係

こちらの二次元コードを
スキャンしてください



【申込期限】

2月19日(月)まで

	氏名	住所	電話番号
1			
2			
3			
4			

※災害等により開催をやむなく中止する場合は、ご出席の連絡をいただいた方に御連絡させていただきますので、必ず電話番号を御記入ください。

※当日、発熱がある方、体調不良の方は来場をご遠慮ください。

お問い合わせ ▶ 和歌山県自然環境室 TEL.073-441-2779